



子どもたち一人一人が笑顔ですごす学校をめざして



自分のしたことで人が喜んでくれること

2月6日(金)、本校の5年生が折尾幼稚園・さかえ保育園・折尾丸山保育所に総合的な学習の時間で保育士体験に行き、本年度3回目の体験をさせていただきました。

1回目は小さな子どもたちにどのように接してよいか分らず、戸惑っていた5年生もいましたが、経験を積み重ねたことで、上手に接することができるようになってきました。保育士体験は本校の5年生が行っている大変に有意義な活動です。小さな子と接することで、思いやりの気持ちを育むこと、人と接する力を伸ばすことなどです。「きっとこんな活動をしたら喜んでくれるかな?」一生懸命考えて、実際にやってみる。そのことで、小さな子たちが笑顔になってくれる。このように自分がしたことが人の役に立つという体験は、人が成長していく上で大変大切なものだと思います。小さな子どもたちを見つめる5年生の表情はとても穏やかで慈愛に満ちていました。



小さい子に分るように話しました。

園児の目線に合わせてやりました。



恥ずかしながらにやりました。



喜ぶ顔を見て、やってよかったです。これからも人を喜ばせたいです。

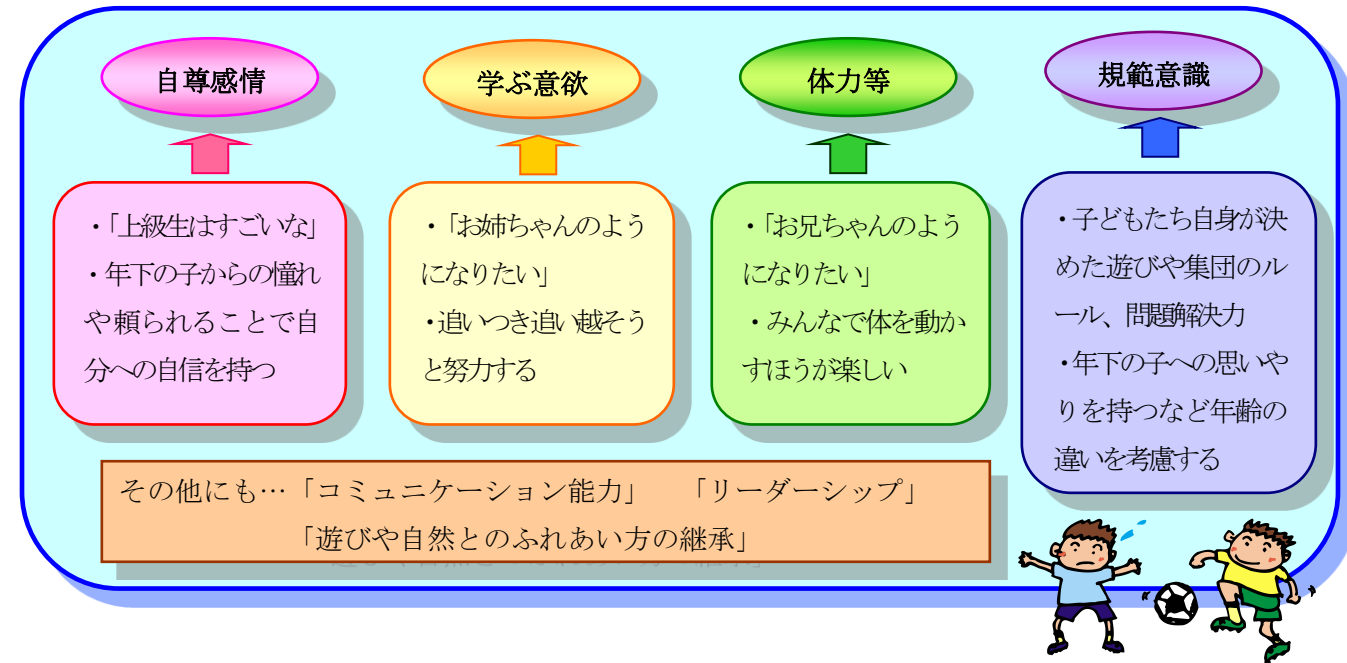
異年齢交流活動の大切さ

教育力向上福岡県民運動
ワンポイント・リーフレットより

○ 異年齢交流活動の意義

同年齢であれば自分たちの発達段階や体力、興味関心に即した遊びができることや、日常一緒にいることが多く気心が知れていて余計な気を遣わなくても良いということがあるでしょう。また、遊ぶための“約束”をとりつけやすいこともあるでしょう。

しかしながら、異年齢で遊んだり活動したりすることで、同年齢同士の活動よりも次のような効果が得やすくなります。



委員会活動

☆保健委員会

保健委員会は、折尾東小学校の子ども達が健康で安全に校内生活が過ごせるように仕事をしています。日常的には、各学年の手洗い場やトイレを見て回り、石けんの補充などを行っています。各学期ごとに、保健だよりをつくって全校児童に健康や安全について呼びかけています。また、委員会活動の時間に健康に関係のある実験をしたり、学校保健委員会を開いて、学校医の先生や保護者の方と一緒に健康について考えたりもします。

